

『基本構想』を市独自の判断で議決事項として条例に追加するというものです。

総務委員会では「基本構想として策定する『国分寺市総合ビジョン』の名称をなぜ条例に明文化しないのか。市民にわかりにくいのではないのか」という質疑がありました。

国分寺市総合ビジョンが基本構想だということが市民の皆さんにわかるよう自治基本条例の逐条解説に明示することとなりました。

採決の結果は、総務委員会、本会議とも全員

賛成で可決しました。

「国分寺市庁舎建設資金積立基金条例」 「一般会計補正予算(第5号)」を可決

本議案は、平成23年3月の東日本大震災発生時に、災害対応にかかわる財源を確保するため廃止した国分寺市庁舎建設資金積立基金条例を改めて設置し、今後の新庁舎建設の資金を積み立てたいというものです。

公共施設等総合管理特別委員会では「基金に

属する現金の運用方法はどのような方法か」「毎年の積立額は5千万円か。財政状況により増額すべきではないか」といった質疑がありました。

採決の結果は、公共施設等総合管理特別委員会、本会議とも全員賛成で可決しました。

また、この基金への18億9,782万5千円の積立金が盛込まれた国分寺市一般会計補正予算(第5号)は、補正予算審査特別委員会(尾澤しゅう委員長、丸山哲平副委員長)、本会議とも賛成多数で可決しました。

市政を
問

平成28年 第3回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番で掲載しています

再開発完成前に 北口駅前通りの整備を



自民党国分寺市議団 新海 栄一

新海) 本多、本町地区の一部の地域において、130平米に3棟の住宅が建つ等の小開発が行われている。まちづくり条例での規制は無いのか。

都市計画担当部長) まちづくり条例では開発区域500平米以上を規制している。対象外である。

新海) さらに小さな開発の可能性もあり、防災防犯上危険である。まちづくり条例の見直しを。

都市計画担当部長) 500平米以下の変更は難しい。しかし住環境の維持を図る必要から地区の特性に合った町づくりを可能にするため、住民の方が地区独自の基準を定めた「地区まちづくり整備計画」を策定できる制度は用意している。

新海) 都市計画道路の第四次事業化計画が発表され、国3・4・6号線の西武多摩湖線立体交差が計画に入った。事業はかなり先と思われるが、その際は住民の意見を充分にお聞き願いたい。

都市建設部長) 非常に複雑な形態の部分ですので地域の皆様のご意見をお聞きしてまいります。

新海) 国分寺駅北口再開発の完成が近づいている。乗降客を増やすためにも駅前通りの活性化は重要、本町2丁目交差点北側の商店会のモール化を。

市民生活部長) ハード面については基本的に都・市・地元3分の1ずつ負担ですが、関係所管とも連携して考えていきたい。

新海) 北口駅前商店会は再開発で店舗数は半減しており3分の1の負担は無理である。北口駅前通りの活性化は国分寺商業の発展に欠かせない、市の最大限の支援をお願いしたい。

新海) 待機児童対策として保育園新設状況は。子ども家庭部長) 来年4月に向けて3園(西恋ヶ窪、本多、東恋ヶ窪)を新設、228名の定員拡大。さらに30年4月に向けて76名を予定。

“ごめん”じゃすまされない自転車事故 !!



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼自転車事故等の現況と防止策

【問】 本年5月に市内府中街道で発生した自転車関連死亡事故に際し、国分寺市として何を学び再発防止策としてどのような施策をしたか？

【答】 自転車は手軽で便利な乗り物である反面、転倒や衝突といった場面では後悔しきれない結末に成り得ることを改めて痛感した。

①事故現場付近の路上に「止まれ」を強調標示した②危険横断抑止策として小金井警察署と連名の立て看板を設置した③市内の危険な道路を中心に運転マナー啓発用の電柱幕を設置する。

【問】 老若男女問わず傍若無人な運転、マナーの悪さモラルの低さには閉口させられる。「自分だけは大丈夫」という根拠の無い自信は捨て、加害者にもなり得ることを強く広く周知願う。

【答】 自転車の危険性を軽視する傾向があり、死亡事故事例を交えた交通安全教室の実施等が危険予知トレーニングに繋がるものと考えます。また、事故で自分が怪我をするばかりか相手に大怪我をさせることも多々あり自転車保険への加入も警視庁とともに推奨していく。

▼公衆無線LANでまちの魅力発信と防災へ活用

【問】 国や都の助成金をフル活用し官民連携した市内公衆無線LANの敷設を強く要望する。

【答】 現状、市内小中学校校体育館に災害時利用を想定した無線LAN敷設済。防災、地域活性、商業振興を念頭に施策を検討する。

▼コンビニエンスストアの利便性と住環境維持

【問】 コンビニ駐車場の振動・騒音に悩む市民多く、不安解消に行政としても関与されたい。

【答】 オーナーに対し適切対応を依頼、小金井警察署とも連携図り適宜対応していく。

相談者に寄り添える 相談体制の構築を のぞむ



公明党 さの 久美子

1. 地産地消について

地産地消施策として「こくベジ」メニューを学校給食で提供し、市民に周知を。また、「こくベジ」を市民参加型の取組みとし、メニュー公募、レシピのネット配信等を提案する。市) 提供できるよう努力したい。有効な取組みと思う。今後、こくベジプロジェクトで検討したい。

2. 線維筋痛症について

激しい慢性疼痛を伴う病気。外見上、周囲にわかりにくい内部障がい。病気の周知と、ヘルプマークの認知度をあげる方策を。市) 市報・HPで健康に関するコラムを掲載したい。11月頃、ぶんバス全ルート優先席、小中学校、図書館等にヘルプマークのステッカーを貼り、その事を市報掲載し、市でも配布できることをめざす。

3. 自転車安全対策について

昨年提案した自転車マナー教育、検討結果は。市) こくぶんじまつりの日、第四小にてスタントマンが実演する「スケアード・ストレイト方式」の教室や交通安全講座を行う予定。

4. 教育相談体制について

制度だけでは解決しにくい不登校問題。悩める

保護者に寄り添えるよう「保護者面接」は一緒に相談するスタンス必要。教育相談も複数回利用が多いため、保護者負担軽減策を。教育長) 「面接」は「面談」であるべき。事後対策だけでなく、不登校状態にさせない取組みを実施しより相談者に寄り添う相談体制にしていきたい。

●認知症対策は、認知症サポーターのステップアップ。又、施策をつなぐための組織づくりが必要な時期がきたと求めた。●コンビニとの「地域活性化包括連携協定」締結を提案した。

未来に繋ぐまちづくり



自民党国分寺市議団 尾作 義明

●国3・4・11号線の整備に伴う遺構保全について国3・4・11号線の整備に伴い一里塚橋に付随して国分寺の歴史に強い関わりのある元町用水、昭和初期の遺構れんがアーチ、旧国分寺街道の不動橋などの物事が多くあり、その保全が望まれる。野川、国3・4・2号線の整備とも重なる地であり、しっかりと計画での対策が必要である。部長) 貴重なご提案。遺構としての価値高い。景観と親水性を考慮し保全を東京都と進めたい。

●市立図書館での電子書籍の対応について図書館の面積の有効活用、市民の利便性を踏まえて電子書籍の活用を検討するべき。部長) HPで「青空文庫」へのリンクを張っている。提案として受け止める。

尾作) 古典を中心としたサイトであり、周知、活用をはかるべき。今後、検討して欲しい。

●国分寺労政会館について

先月、駅ビルのサロン飛鳥が営業を終了した。今後の市民活動の影響もあり、労政会館に関心が持たれている。今後はどのようになるか？

部長) 平成33年をもって立川へ移転する予定。その後の建物、敷地の利活用については未定。尾作) 継続的に利用できるようお願いしたい。

次ページに続く➤

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成28年第4回定例会は、11月28日(月)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。